

JR貨物グループ会社の再編について

平成28年3月16日
日本貨物鉄道株式会社

JR貨物グループは、グループ全体としての競争力・総合力の向上を図るため、総合物流事業体制の構築に向けたグループ事業体制の再編に取り組んでいます。

このたび、主に特積み・引越し事業者様に鉄道利用運送サービスを提供する「日本フレートライナー(株)」と、国際フォワーダー・船社様に鉄道利用運送・通関サービスを提供する「(株)ジェイアール貨物・インターナショナル」の2社、及び京阪神地区で鉄道業務受託およびトラック事業を展開する「(株)ジェイアール貨物・関西ロジスティクス」と岡山・山陰・四国地区で同種事業を展開する「(株)ジェイアール貨物・山陽ロジスティクス」の2社について、グループ全体としての営業体制強化による収益拡大、及び安定的業務運営体制の整備を図ることを目的として、以下のとおりそれぞれ再編いたします。

I 「日本フレートライナー(株)」と「(株)ジェイアール貨物・インターナショナル」の再編

1. 再編の目的

- 輸出入貨物をターゲットに鉄道・トラック集配・通関の各サービスを一貫提供することでJR貨物グループとして鉄道輸送を基軸とした総合物流事業体制を構築します。
- (株)ジェイアール貨物・インターナショナルの主要顧客である国際フォワーダー様と日本フレートライナー(株)の既存国内輸送ネットワークを結合させることで輸出入貨物の国内鉄道輸送拡大を図ります。
- 両社の営業部門を統合することで、鉄道輸送拡大に向けたグループとしての営業体制を強化します。
- 上記を通じて、営業力強化・顧客サービスの向上、グループ内倉庫会社等とも連携を図ることで、JR貨物の鉄道事業収益拡大を図ります。

2. 再編の概要

(1) 再編関係会社

- ① 日本フレートライナー株式会社
- ② 株式会社ジェイアール貨物・インターナショナル

(2) 再編方式

- ①再編形態 日本フレートライナー株式会社を存続会社とする吸収合併
- ②再編期日 平成28年3月31日

Ⅱ 「株式会社ジェイアール貨物・関西ロジスティクス」と「株式会社ジェイアール貨物・山陽ロジスティクス」の再編

1. 再編目的

外部収入の拡大と経営基盤の強化

- 会社規模の拡大により、トラック事業の営業体制拡充と山陽本線沿線地区への集中的資本投入による事業拡大とグループ外部からの収入拡大を図ります。また、他グループ会社との連携を通じ、JR貨物グループとして鉄道輸送を基軸とした総合物流事業体制を構築します。
- 鉄道業務受託事業において、社員の採用・教育体制を整備できる会社規模とすることで、社員の円滑な採用と定着化を図るとともに、事業所間の交流拡大を通じて、JR貨物の鉄道事業を安全・安定的に継続するための業務運営体制を構築します。
- 上記を通じて、JR貨物の鉄道事業収益拡大と安定的業務運営体制の整備を図ります。

2. 再編概要

(1) 再編関係会社

- ①株式会社ジェイアール貨物・関西ロジスティクス
- ②株式会社ジェイアール貨物・山陽ロジスティクス

(2) 再編方式

- ①再編形態 株式会社ジェイアール貨物・山陽ロジスティクスを存続会社とする吸収合併

※ 本社組織等は株式会社ジェイアール貨物・関西ロジスティクスを母体とする

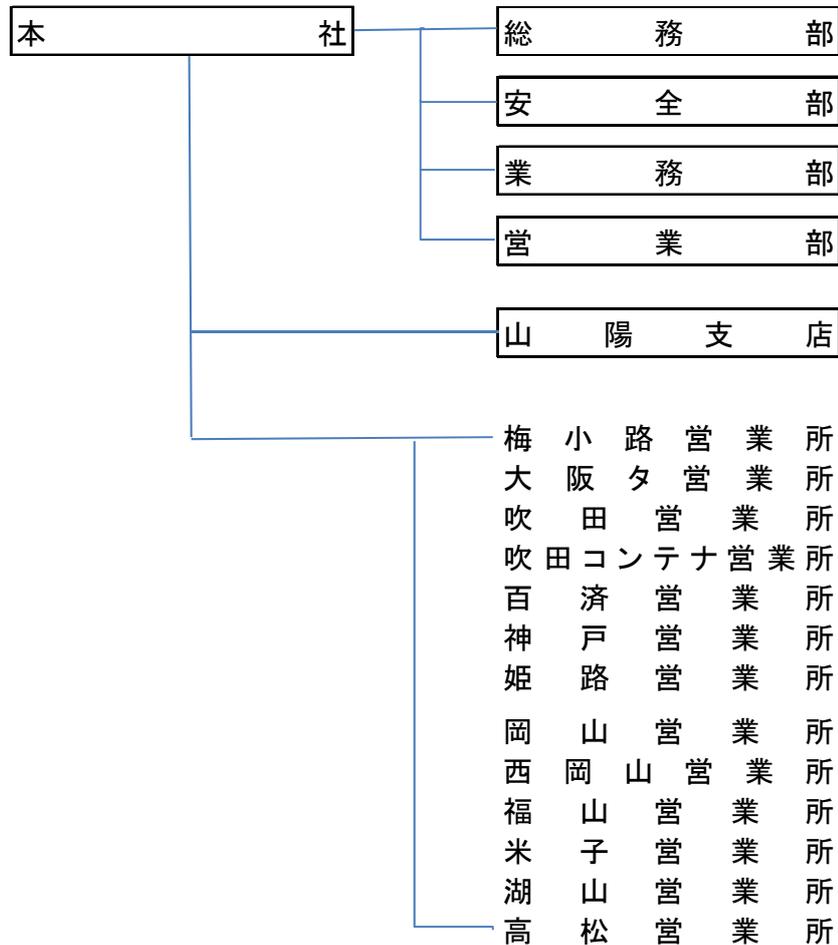
- ②再編期日 平成28年4月1日

(3) 再編新会社の概要

- ①社名 株式会社ジェイアール貨物・西日本ロジスティクス
- ②資本金 25百万円
- ③本店 大阪市福島区福島六丁目13番7号
※現 株式会社ジェイアール貨物・関西ロジスティクス 本社事務所
- ④代表者 代表取締役社長 小暮 一寿
- ⑤従業員数 304名
- ⑥URL <http://www.jrf-kanloji.co.jp/>

3. 再編新会社の体制等について

(1) 組織体制（平成28年4月1日）



(2) 役員（平成28年4月1日）

代表取締役社長	小暮 一寿	(現：(株)ジェイアール貨物・関西ロジスティクス代表取締役社長)
専務取締役	小山 太	(現：(株)ジェイアール貨物・山陽ロジスティクス代表取締役社長)
常務取締役	戸田 栄太郎	
取締役	魚野 尚嗣	
取締役	横田 明安	
取締役（非常勤）	永田 浩一	
取締役（非常勤）	安田 晴彦	
取締役（非常勤）	和田 茂	
取締役（非常勤）	入江 宏紀	
取締役（非常勤）	金治 秀行	
監査役（非常勤）	伊藤 直高	